

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：沖繩総合事務局地方計画室
担当課長名：白金 義弘

事業名 いしみな 石嶺線	事業区分 街路	事業主体 沖繩県那覇市		
起終点 自 沖繩県首里汀良町3丁目 至 沖繩県首里石嶺町4丁目	延長 0.92km			
事業概要 石嶺線は、第2環状線を起点に汀良西原線と交差し、松川石嶺線に連結する延長2.2kmの幹線街路である。 本路線周辺地域は、久場川市営住宅、石嶺市営住宅、国家公務員宿舎に近接し、近年大型小売店等の進出で交通量も増加しているうえに、現況幅員が5～7mと狭く歩道も未整備で危険な状況である。 平成7年度に1工区（409m区間）が完了し、現在、県道29号線から石嶺団地入口までの920m区間を施行中であり、平成18年度を目途に残る871m区間を事業着手する予定である。 なお、当該街路は、沖繩県第3次渋滞対策プログラムにおいて、主要渋滞ポイントとして指定されている鳥堀北交差点の渋滞緩和のための拡幅改良路線として位置づけられている。				
H7年度事業化	S43年度都市計画決定 （H7年度変更）	H7年度用地着手 H12年度工事着手		
全体事業費 約97億円			事業進捗率 49%	供用済延長 0km
計画交通量 32,400台/日（H27推計）				
費用便益 分析結果	B/C (事業全体) 1.68 (残事業) 3.60	総費用 (残事業)/(事業全体) 46.5/99.6億円 (事業費：46.4/99.5億円) (維持管理費：0.07/0.07億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 167/167億円 (走行時間短縮便益：163/163億円) (走行費用減少便益：3.6/3.6億円) (交通事故減少便益：0.8/0.8億円)	基準年 平成16年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（混雑時旅行速度が15km/h未満である現道の旅行速度の改善が期待される。また、新たなバス路線開設を含む都市モラル駅へアクセス向上が見込まれる。） ・国土・地域（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・他のプロジェクトとの関係（那覇市都市内幹線道路整備プログラムに位置づけられている。また、沖繩県第3次渋滞対策プログラムに、位置づけられている。）				
関係する地方公共団体等の意見 首里石嶺地域の渋滞緩和と地域活性化を図るため、自治会、小中学校PTA、通り会、婦人会、などから早期整備の要請を受けている。（平成11年7月21日、平成13年4月12日）				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 沖繩都市モラル開通に伴い、首里駅を利用する歩行者が増加している。また、首里城公園、首里駅、ホテル、団地を経由するコミュニティバス開設が検討されている。さらに、当該道路に隣接した大型ショッピングセンターの新築や市営住宅の改築が予定され、市街地活性化の気運が高まっている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 これまで（平成16年度末）に事業費ベースで49%の進捗で、用地取得率は58%まで達している。未買収用地は残り約6,910㎡で、その箇所の用地取得と街路工事が残事業となる。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 一部の地権者において、隣接地主どうしの境界争いや、相続問題等があったり、補償額に対する不満があるため等により、交渉に期間を要している。未買収用地については、引き続き任意交渉を進めていくとともに、土地収用の手続きも併せて進めることにより、早期の用地取得を図る。				
施設の構造や工法の変更等 特になし。				
対応方針		事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図				

